

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

豊後大野市長 川野 文敏

市町村名 (市町村コード)	豊後大野市 (44212)
地域名 (地域内農業集落名)	千歳町 柴山(行政区 柴山) (千歳町 柴山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年12月14日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・柴山集落は、農業者の平均年齢70歳であり、地域の活性化を進めるために、新規就農者の確保・育成が課題となっている。
 ・耕作条件が悪い農地があり、水田としての維持が困難な農地がある。また法面や水路の管理も負担となっている。
 ・将来方針として農地集約化を図るとともに、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討していく必要がある。
 ・農地管理のためにも法人の存続が必要。しかし創業時の役員と変わらず後継者不在で困っている。

【地域の基礎的データ】

経営体: 認定農業者 1法人、1名 等

主な作物: 水稻、麦、大豆、甘藷(令和5年白ネギ取組中)

(2) 地域における農業の将来の在り方

・法人を中心として集積・集約化をする。法人に作業を委託した農家も、農地や水路や農道の管理に協力し地域全体で農地を守っていく。
 ・新たな作物の導入として令和5年より白ねぎに取り組んでおり、所得の向上を図っている。
 ・後継者について地区内の対象者の洗い出しと勧誘を行い、担い手の確保・育成を図る。
 ・所有者は自作できなくなれば法人に預ける。法人の後継者問題は地区も協力し考える。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	66.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	66.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。
 条件不利地も当面は耕作するが地区内で相談していく。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針※
地域全体の農地を農地中間管理機構に貸し付け、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
基盤整備は取り組み済みである。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地区内の対象者の洗い出しと勧誘を行い、担い手の確保・育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①イノシシやシカの被害が拡大しないよう防止柵を設置するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。
- ⑧柴山溜池組合が管理し水路として利用している溜池について、池周りの石壁が破損し、池に流れ込んで困っている。石の除去や改修等行っていく。